

兵庫県立美術館開館 10 周年記念事業/第 8 回 K E N - V i 文化セミナー

フォーラム「あさっての美術館」

～未来のミュージアムを考える～

昨年開館 10 周年を迎えた日本科学未来館、今年開館 10 周年を迎えた兵庫県立美術館が共同して、次の 10 年、さらにはその先にある「未来のミュージアム」を展望し、あるべき姿を探る。

科学館と美術館を「ミュージアム」と総称する。

「ミュージアム」についての意見交換を核としつつ、科学やアートの裾野を広げることが地球規模の課題解決につながりうることや、科学とアートの融合により、新たな分野が生まれ発展しうることなど、より広い観点からも議論を深める。

2012年12月8日(土) 開場 14:00 開演 14:30

兵庫県立美術館 ギャラリー棟 3階 ギャラリー

神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1 TEL078(262)0901

スケジュール(予定)

14:30 第一部 「あさっての美術館」 プレゼンテーション

プレゼンテーター 川崎 和男氏 / 石黒 浩氏

第一部では、兵庫県立美術館側のプレゼンテーターとして伝統工芸品からメガネやコンピュータ、ロボット、原子力エネルギー、人工臓器、先端医療、海事戦略、宇宙空間の装置化などまで幅広く、デザイン活動を行う川崎和男氏を 日本科学未来館のプレゼンテーターとして社会で活動できる知的システムを持ったロボットの実現を目指し、自身のコピーロボット、ジェミノイドなどのロボットを開発し、最先端のロボット研究者である石黒浩氏をお迎えし、地球規模の人类的課題に対してミュージアムの役割を問い直し未来への繋がりを探る。

15:30 休憩

15:50 第二部 「あさっての美術館」フォーラム

毛利衛氏×蓑豊氏×川崎和男氏×石黒浩氏

第二部では、グローバルな視野を有し、未来を担う子どもへの関心が高く、さらにミュージアムの果たすべき役割について確固たる信念を有するという共通項のある毛利日本科学未来館長、蓑兵庫県立美術館長の両館長及び両プレゼンテーターとともに、ミュージ

アムの現状とその将来像について意見交換し、これを発信することでミュージアムの意義を世に問う。

17:00 終了

あさっての美術館：2010年2月に湘南国際村で開催された第4回ミュージアムサミットにおいて、大阪大学学長（当時）の鷲田清一氏が唱えた概念で、現在の延長線上である「明日」には入りきらない、日常の中で一線を越える美術館を意味する。

入場料 ギャラリーのみ有料（2,000円）全席自由・500席

パブリックビューイング（無料）

実施箇所（予定）

兵庫県立美術館（レクチャールーム、ホワイエ）

日本科学未来館（イノベーションホール、エントランスゾーン）

主催 兵庫県立美術館、日本科学未来館
兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会

チケット購入方法

兵庫県立美術館ミュージアムショップ

TEL:078-265-6655

ローソンチケット（Lコード 59755）

TEL:0570-084-005

前売り券のみの販売となります。当日券の販売はございませんのでお早めにお買い求めください。
未就学児不可。

お問い合わせ 兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会

電話：078-262-0908

美術館ホームページ：<http://www.artm.pref.hyogo.jp/>